

血液病学

責任者・コーディネーター	内科学講座（血液・腫瘍内科分野） 石田 陽治 教授		
担当講座・学科（分野）	内科学講座（血液・腫瘍内科分野）、小児科学講座		
担当教員	石田 陽治 教授、遠藤 幹也 准教授、伊藤 薫樹 准教授、村井 一範 講師		
対象学年	3	区分・時間数	講義 33時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

学生は血液学の基礎的事項を解剖学、組織学、生理学、生化学さらには病理学などですでに履修している。そこで第3学年においては、履修済みの基礎血液学とこれから新たに学習する臨床血液学とを一連の流れとして結び付け、まず基礎血液学に立脚した各種血液疾患の概念と病態生理を理解する。さらに個々の疾患に対して現在行われている治療法とそれに伴う疾患予後、そして治療に関する将来展望までを一貫して理解することが求められる。

・一般目標（GIO）

血液学の講義を通じて、医師として必要な血液学の基本的知識、病態の把握、治療法などの理解を深め、それらに基づいて様々な応用できる思考能力を養う。

・到達目標（SBO）

第1段階：
すでに学習している血液の組成とその生体作用、血液細胞の正常の産生ならびに分化・成熟過程とそのコントロール機構、各成熟段階の正常血液細胞形態を説明できる。次いで各血液細胞系の検査法とその病態解析への応用、ならびに血液凝固メカニズムを説明できる。

第2段階：
小児と成人における血液疾患個々の概念、疫学、臨床病態、治療法、ならびに予後について疾患各論の立場から理論的に説明できる。また、現在一般に行われている血液疾患の治療法の中で最も先進的である造血幹細胞移植についての説明ができる。

第3段階：
主要な血液疾患について実際の定型例を提示する。それについて自らが各疾患の発症パターン、診断の方法とその根拠を述べ、個々の症例に対する治療戦略を立てることができる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/25	火	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患総論 1
9/25	火	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患総論 2
10/2	火	3	血液・腫瘍内科分野	村井 一範 講師	慢性骨髄増殖性疾患 (慢性骨髄性白血病を含む)
10/2	火	4	血液・腫瘍内科分野	村井 一範 講師	造血幹細胞移植・免疫療法
10/9	火	3	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	赤血球総論
10/9	火	4	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	小球性貧血
10/16	火	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 1
10/16	火	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 2
10/23	火	3	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	正球性正色素性貧血
10/23	火	4	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	大球性貧血
10/30	火	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 3
10/30	火	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 4
11/6	火	3	血液・腫瘍内科分野	伊藤 薫樹 准教授	急性白血病
11/6	火	4	血液・腫瘍内科分野	伊藤 薫樹 准教授	骨髄異形成症候群
11/7	水	3	血液・腫瘍内科分野	伊藤 薫樹 准教授	リンパ性増殖性疾患 (慢性リンパ性白血病・多発性骨髄腫等)
11/7	水	4	血液・腫瘍内科分野	伊藤 薫樹 准教授	悪性リンパ腫
11/14	水	3	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	出血傾向 (総論)

11/14	水	4	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	止血・凝固異常症
11/21	水	3	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	線溶異常症
11/21	水	4	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	播種性血管内凝固症候群・血栓性血小板減少性紫斑病
11/28	水	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	検査値のみかた 1
11/28	水	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	検査値のみかた 2

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	標準血液病学	池田康夫、押味和夫 編	医学書院	2000
参	三輪血液病学 第3版	大野仁嗣 他 編	文光堂	2006

・成績評価方法

試験成績 90%、出席 10%

・特記事項・その他

1. 小児の血液疾患総論 1
2. 小児の血液疾患総論 2
3. 検査値のみかた 1
4. 検査値のみかた 2
5. 小児の血液疾患 1
6. 小児の血液疾患 2
7. 小児の血液疾患 3
8. 小児の血液疾患 4
9. 赤血球総論
10. 小球性貧血
11. 正球性正色素性貧血
12. 大球性貧血
13. 急性白血病
14. 骨髄異形成症候群
15. 慢性骨髄増殖性疾患 (慢性骨髄性白血病を含む)

16. リンパ性増殖性疾患（慢性リンパ性白血病・多発性骨髄腫等）
17. 悪性リンパ腫
18. 造血幹細胞移植・免疫療法
19. 出血傾向（総論）
20. 止血・凝固異常症
21. 線溶異常症
22. 播種性血管内凝固症候群・血栓性血小板減少性紫斑病

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	コンピュータ		講義
講義	プロジェクター		講義（アトラス）